

2024年度 公立大学法人大阪第2回役員会議事要旨

日 時：2024年6月17日（月）15時10分～16時05分

場 所：I-site なんば2階カンファレンスルーム

構成員：福島理事長、辰巳砂副理事長、酒井理事、東山理事、櫻木理事、高橋理事、重松理事、
中村理事、宮部理事(オンライン)、帯野理事、藤沢理事(オンライン)、藤本理事

監 事：白井監事、前田監事

陪席者：露口本部事務機構長、大久保本部事務機構次長、石井本部事務機構次長、
千田総務総括部長、柴山企画総括部長、船野学長室長、石田総務部長、森岡企画部長、
片山総務課長

<冒頭報告>

大学における毒物紛失に係る事案について

理事長より、当該事案についてお詫びの発言があり、その後、緊急対策本部長の辰巳砂学長
および化学物質管理統括者の櫻木副学長より説明がなされた。

【審議事項】

1 2023年度決算・財務諸表等について

財務担当部長より、2023年度決算・財務諸表等について説明があり、審議の結果、会計監査人による監査の承認が得られることを条件に、原案のとおり承認された。

2 2023事業年度に係る業務の実績について

企画部長より、2023事業年度に係る業務の実績について説明があり、審議の結果、教育研究審議会で修正審議がなされた場合は理事長一任としたうえで、原案のとおり承認された。

3 第二期中期目標案に対する法人の意見について

企画部長より、第二期中期目標案に対する法人の意見について説明があり、審議の結果、教育研究審議会で修正審議がなされた場合は理事長一任としたうえで、原案のとおり承認された。

<主な意見等>

- ・公立大学の特徴を生かし、他大学との違いを際立たせていただきたい。また、新事業では意欲的な教職員を引き上げ、前向きに進めていただきたい。
- ・第二期は第一期での課題を受けての設定になるので、第一期と第二期の違いを明確化したうえで中期計画を作成いただきたい。
- ・大学の成果とは、人材育成と研究成果の二本柱である。世の中に役立つ人材を輩出する大学こそが評価される。
- ・秋入学の導入が実現されれば、国外からの入学者数の増加が見込まれる。

【報告事項】

1 2023年度内部監査報告について

監査室長より、2023年度内部監査報告について説明がなされた。

<主な意見等>

- ・監査室からの指摘に対し、改善が年度内に見込まれない場合は、役員会への共有が必要では

ないか。

2 監査室臨時監査結果概要について

監査室長より、監査室臨時監査結果概要について説明がなされた。

【その他事項】

なし

【備考】

オンライン会議システムを併用した役員会は、適時的確な意見表明が互いにできる状態であることを確認しており、終始異状なく議題の審議等を終了した。

以 上